

---

IDCFクラウド

---

# 活用マニュアル

～スケーラブルなWebサイトを構築したい（Web2台構成）～

スケーラブルなWebサイトを構築したい（Web2台構成）

## 目次

(1)スナップショットの取得.....	2
(2)テンプレートの作成.....	4
(3)マイテンプレートから仮想マシンを作成 .....	5
(4)ポートフォワードとファイアウォールの設定変更 .....	6
(5)ロードバランサーの設定.....	8



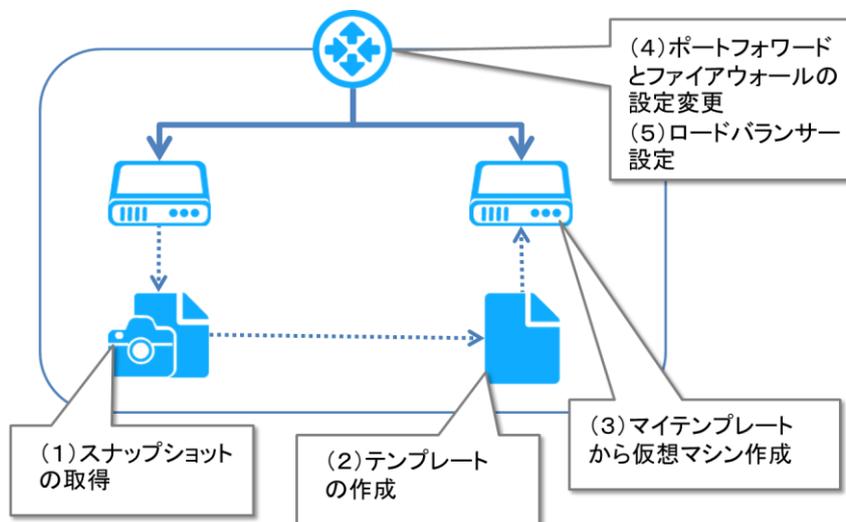
最終更新日：2015/7/1

## スケーラブルなWebサイトを構築したい(Web2台構成)

スナップショットはユーザー固有のテンプレート（マイテンプレート）として保存し、仮想マシン作成時にテンプレートとして利用することができます。

ここではマニュアル「Webサイトの本番環境を構築したい（Web1台構成）」で作成した「web01」のスナップショットからテンプレートを作成し、そのテンプレートからもう1台仮想マシンを作成して2台構成で運用するケースを示します。この場合、1台目と同様に2台目のサーバーにアクセスできるようにファイアウォールとポートフォワードの設定を変更します。こうしてweb2台構成で運用するサーバーをロードバランサーに登録してスケーラブルにサイト運用をする例を示します。

監修：IDCFフロンティア 藤城拓哉



### (1)スナップショットの取得

- ①スナップショットからテンプレートを作成する前に以下の作業をweb01で実施しておきます。

```
[root@web01 ~]# rm /etc/udev/rules.d/70-persistent-net.rules
rm: remove 通常ファイル `/etc/udev/rules.d/70-persistent-net.rules'? y
Macアドレスを格納したファイルを削除

[root@web01 ~]# vim /etc/fstab
etc/fstabを編集

#UUID=55460e6f-4209-4106-9389-1b5d90a0bb2c /data ext4 defaults 0 0
マニュアル「高速なデータディスクを活用したい」(3)の操作
⑧で追加した行をコメントアウト

[root@web01 ~]# mv /var/lib/Mackerel-agent/id/var/lib/Mackerel-agent/id.backup
MackerelエージェントのIDを上書きされないように名称変更
```

```
[root@web01 ~]# sync          念のためメモリーの内容をディスクに書き込む
[root@web01 ~]#
```

- ②クラウドコンソールから [ボリューム] を選択し、スナップショットを取るボリューム (仮想マシン「web01」にアタッチされた「ROOT-41436」) を選択します。



- ③ROOT--41436画面で [スナップショット] をクリックし、 [スナップショットを作成する] をクリックします。



- ④確認メッセージに [はい] をクリックすると、スナップショットが作成されます。

## (2)テンプレートの作成

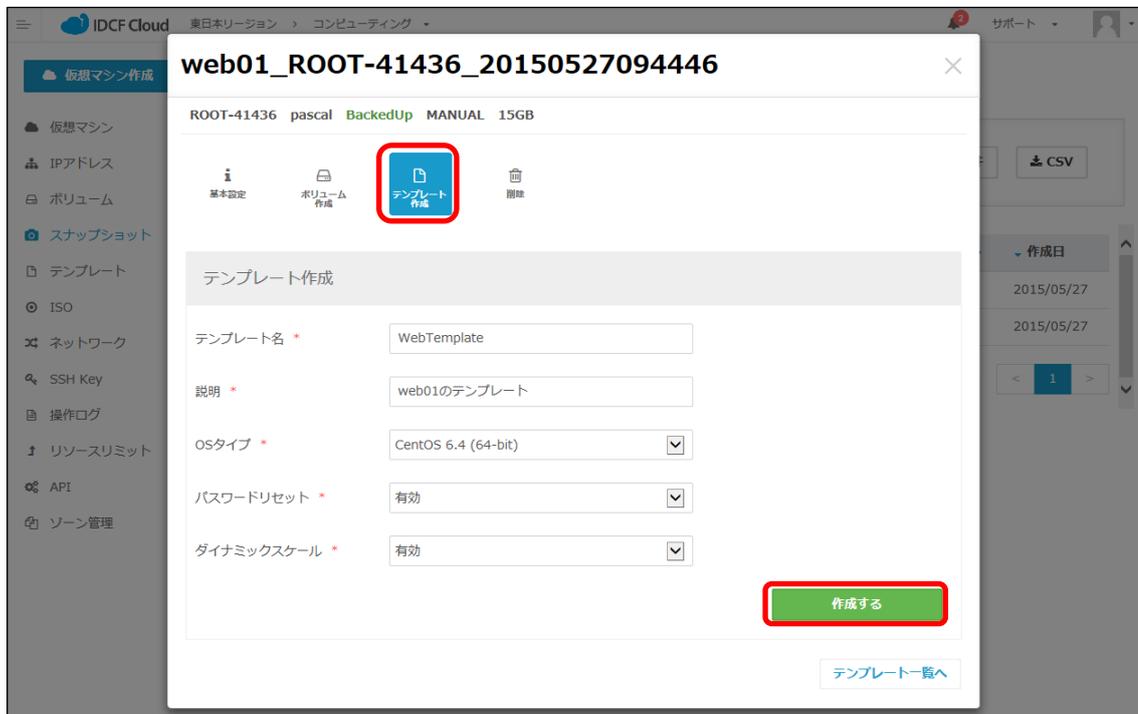
- ① [×] をクリックしてクラウドコンソールに戻り、[スナップショット] を選んで今取ったスナップショットを選択します。



- ②スナップショットの操作画面で[テンプレート作成] をクリックします。  
必要な内容を指定し、[作成する] をクリックします。

項目	設定内容
テンプレート名	WebTemplate
説明	web01のテンプレート
OSタイプ	※
パスワードリセット	有効
ダイナミックスケール	有効

※お使いのOSタイプと同じもの、もしくは近いものをご選択ください。



以上で「web01」のスナップショットからテンプレートが作成されました。

④テンプレート作成後、操作①で施した変更を元に戻しておきます。

```
[root@web01 ~]# vim /etc/fstab
UUID=55460e6f-4209-4106-9389-1b5d90a0bb2c /data ext4 defaults 0 0
コメントアウトした行をコメントイン

[root@web01 ~]# mv /var/lib/Mackerel-agent/id.backup /var/lib/Mackerel-agent/id
名称変更したファイル名を元に戻す
```

### (3)マイテンプレートから仮想マシンを作成

以上の手順で作成したテンプレートから仮想マシンを作成します。

①クラウドコンソールから [仮想マシン] を選択し、 [仮想マシン作成] をクリックします。

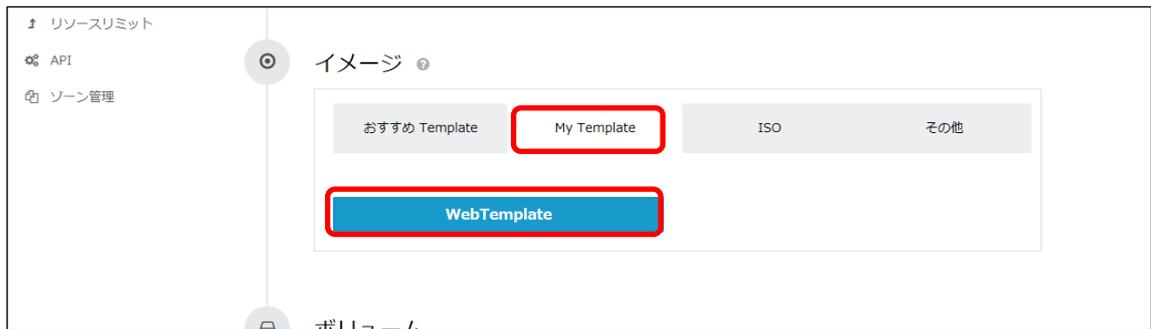


②仮想マシン作成画面で以下のように設定します。

項目	設定内容	
マシンタイプ	Light.S1	
イメージ (テンプレート)	My Template — WebTemplate ※注1	
ボリューム	追加ディスクなし	
SSH Key	※注2	
仮想マシン台数	1台	
ネットワークインターフェース	(お使いのゾーン名) -network1	
詳細情報	マシン名	web02
	グループ	(なし)

※注1: 「イメージ」の項目は「My Template」をクリックし、先ほど作成したテンプレート「WebTemplate」を選択します。

※注2: SSH Keyの項目は、SSH秘密鍵を未作成の場合は [作成] を選択し、生成された秘密鍵をローカルPCに保存します。詳しくは「めちゃ楽ガイド」6ページの手順3をご参照ください。



- ③必要な内容を設定して画面下部の [確認画面へ] をクリックします。
- ④確認画面が表示されますので [作成] を選択し、確認メッセージに [はい] をクリックして仮想マシンを作成します。
- ⑤仮想マシン一覧に作成した仮想マシンが追加されます。



#### (4)ポートフォワードとファイアウォールの設定変更

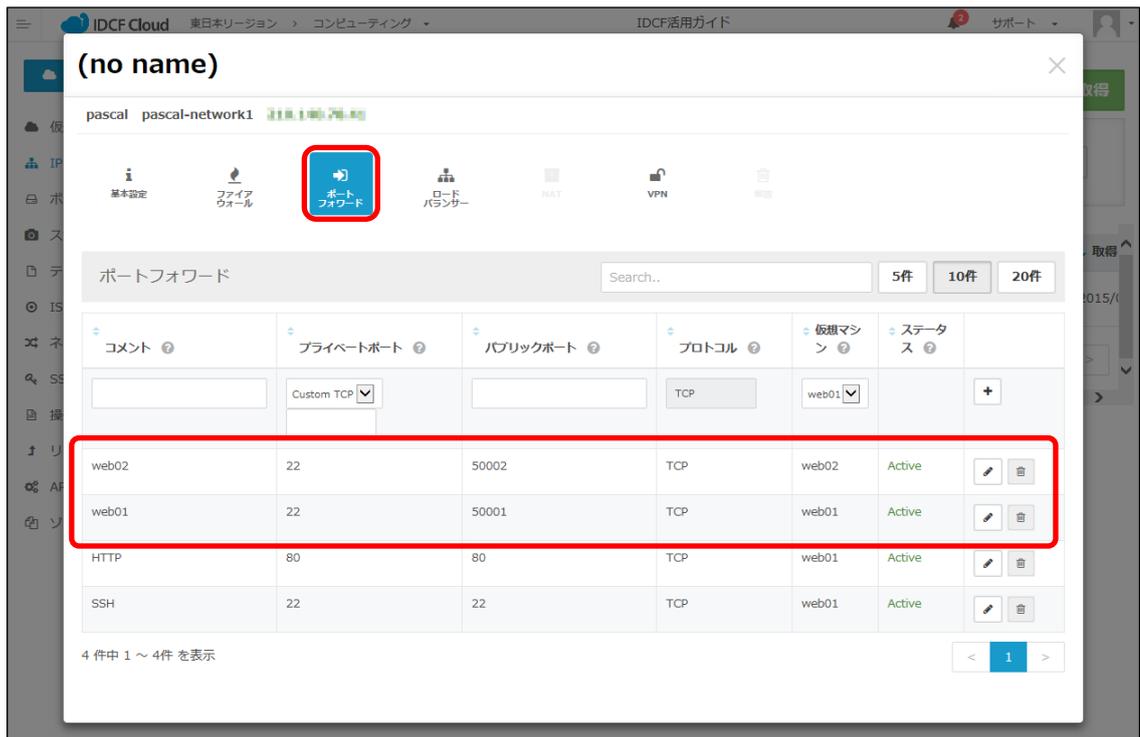
「web01」と「web02」に同じグローバルIPアドレスでアクセスできるように、ファイアウォールとポートフォワードの設定を変更します。

①クラウドコンソールから「IPアドレス」を選択し、変更するIPアドレスをクリックします。

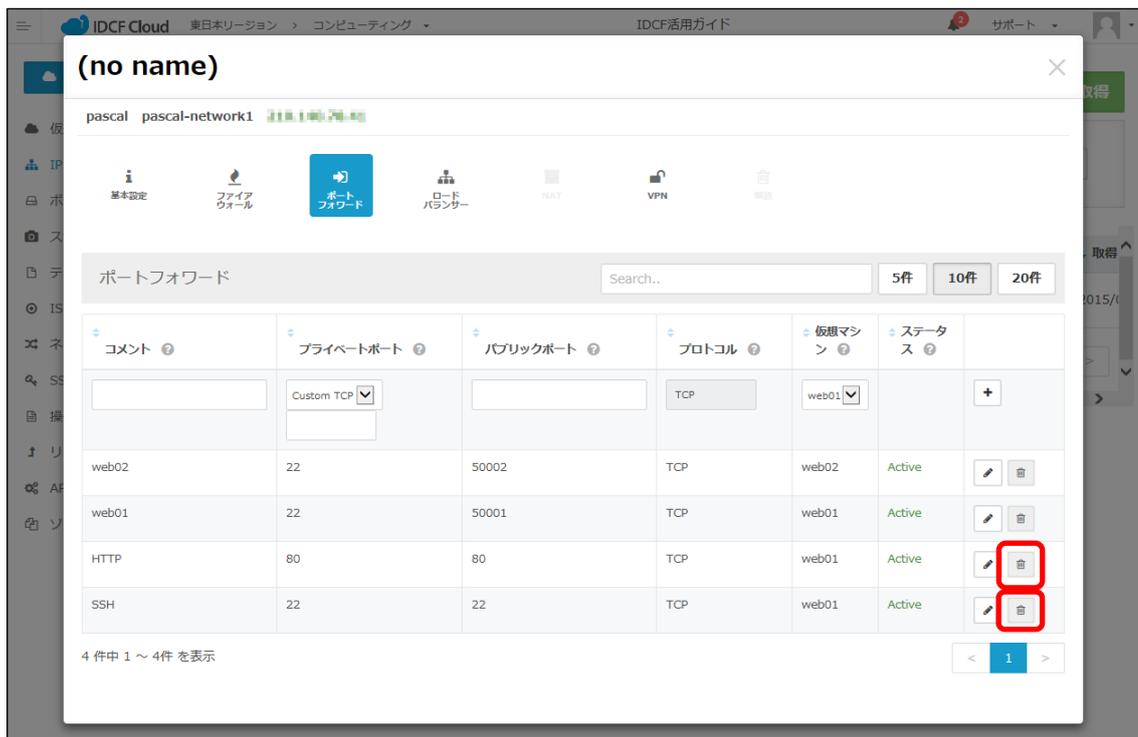


② [ポートフォワード] を選択し、次の設定を追加します。

コメント	プライベートポート	パブリックポート	プロトコル	仮想マシン
web01	ssh (22)	50001	TCP	web01
web02	ssh (22)	50002	TCP	web02

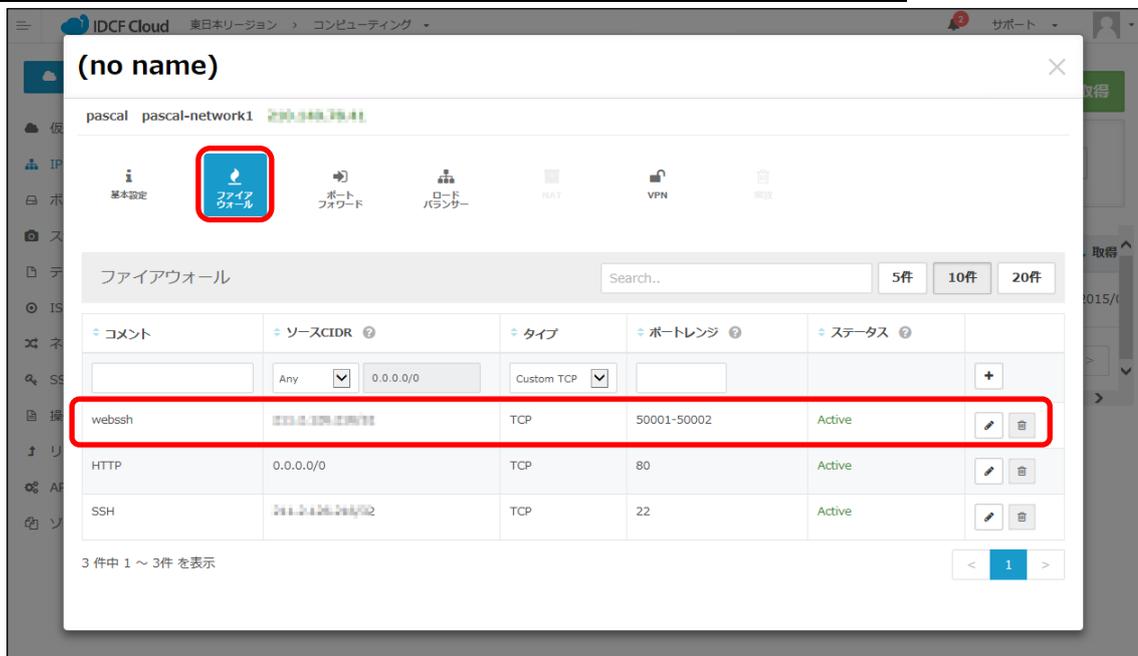


②ポートフォワードのSSHとhttpを削除します。



③同じく [ファイアウォール] で次の設定を追加します。

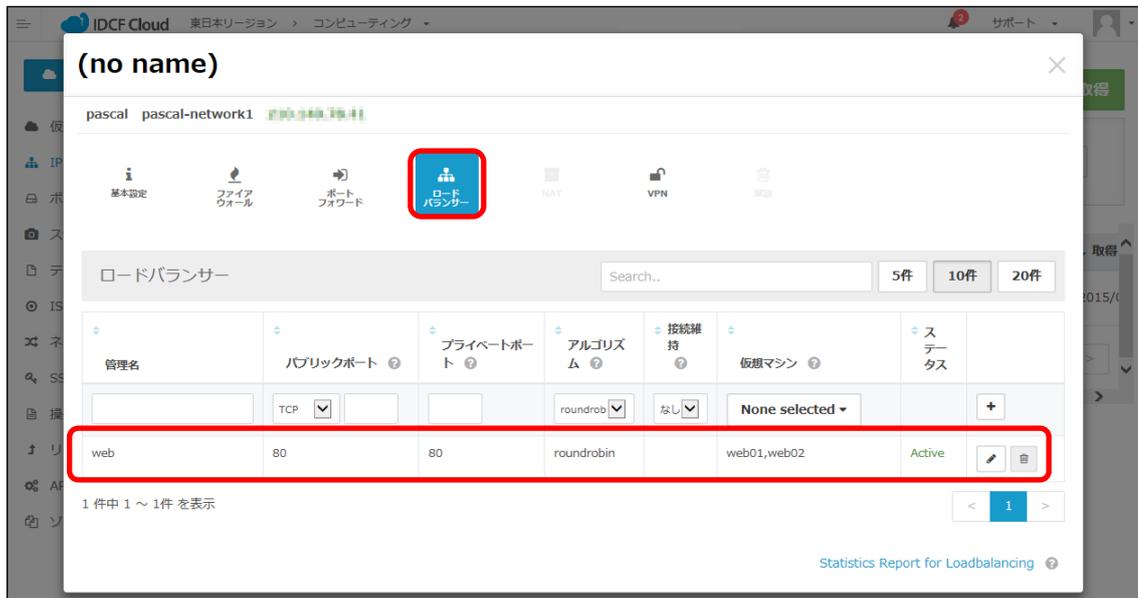
コメント	ソースCIDR	タイプ	ポートレンジ
webssh	My IP	Custom TCP	50001-50002



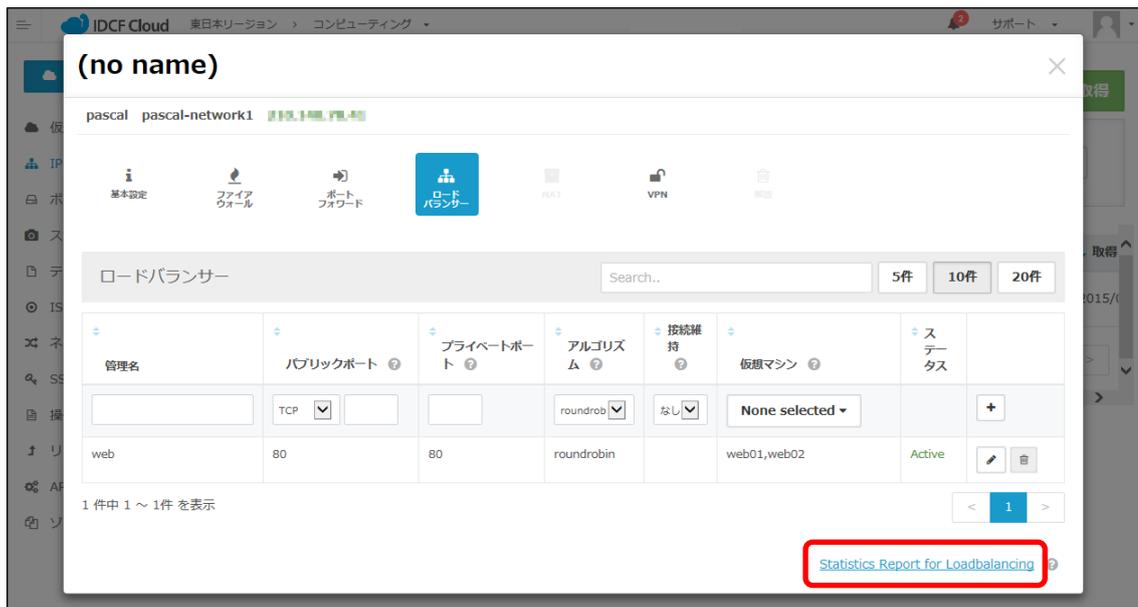
## (5)ロードバランサーの設定

①「IPアドレス」画面で [ロードバランサー] を選択し、以下のように設定します。

管理名	パブリックポート	プライベートポート	アルゴリズム	接続維持	仮想マシン
web	HTTP (80)	80	roundrobin	(なし)	web01,web02



- ③ロードバランサー設定画面右下のリンクをクリックすると、ロードバランサーの監視画面が表示されます。



何度か再読み込みすると、「web01」「web02」いずれも表示されるため、バランシングされていることが確認できます。